

工業科

1 指導の方針

- （１）製品の製造から販売・活用などを通して、学校教育目標の達成、及び社会生活との関わりを見通した指導の充実に努める。
- （２）生徒個々の需要に応じた指導計画を立案し、効果的な実践・検証に努める。
- （３）社会生活や就労生活に対応する力の定着を図る。さらに、必要な活動に積極的に参加し、協力して物事に対処する姿勢を育てる。

2 製品紹介

		
民地仕切り石	歩道平板	U字溝
		
人道蓋	花壇装飾石	

3 働く力6観点に基づく指導

1 たくましい心とからだ：体力、気持ち 	2 頼もしい意欲・主体性：自分から動く 	3 相手を思いやるコミュニケーション：動機（心、気持ち） 
1-(1)健康 1-(3)集中力・体力 健康や体力は、仕事をする上で大事な基礎となるものです。型枠やコンクリート製品など、重量のあるものを扱う作業を通して、力強く働き、最後までやり遂げることのできる心と身体を育てることを目指して指導しています。 1-(2)安全管理 作業中は「安全第一」を意識し、作業心得を読み上げるなど、事故やけがのないよう意識して作業に取り組むことを指導しています。	2-(4)主体性・積極性 作業では、より良い質のものを、より早くできることを意識しながら取り組んでいます。出来高表やストップウォッチで自分の作業ペースを確認したり、報告の際に仕事の出来を確認してもらい、合格すると確認なしで次の工程に進めるなどの取り組みを通して、自ら積極的に取り組む気持ちを育てることを大事にした指導をしています。	3-(3)協力意識 作業を行う中での共同作業や、小グループでの作業では、自分の割り当てられた仕事だけでなく、終わった時は他の仕事を手伝うことや、仲間が重い道具を運んでいるときはすすんで手助けをすることなどが意識できるよう働きかけています。周囲に気配りしながら、思いやりを持った行動ができることを大事に指導しています。
4 気持ちの良いコミュニケーション：技術（スキル） 	5 状況を見て、自分の取るべき言動を判断する 	6 周りの大人に相談し助言を受け入れる：困ったときこそ自分から動く 
4-(1)挨拶・返事 重たい製品や型枠を扱う工業科では、自分自身の安全管理だけでなく、周囲や他者への配慮も必要です。作業の音にかき消されないよう、大きな声で合図を出したり、返事を大きな声で行うなど、周囲と意思の疎通を図りながら、安全に円滑な作業ができることを目指して指導をしています。	5-(1)状況把握 5-(2)判断 打ち込み作業は時間との勝負です。ミキサーから出たコンクリートが固まる前に、速やかに型枠に流し込まなければいけません。それぞれの持ち場に責任を持ちながらも、周囲の状況をよく見て状況に合わせた判断をし、連携、協力のできる作業ができることを目指して指導しています。	製品販売会では、お客様を相手にした販売や接客など、普段と違った活動を行うことになります。自分の経験や知識から予測できないことがあったとき、迷わず適切なタイミングで周りの大人にアドバイスを求める力が求められます。製品販売会に向けた学習だけでなく、普段の授業から、自ら判断して選択する場面や教師に支援を求める場面を設定しながら指導しています。

4 キャリア発達の促進

公園遊具の補修・設置 工業科では、地域に貢献する作業として、町内の「平和公園」の柵と遊具の修繕作業に取り組んでいます。 秋口の雪が積もる前に、柵や遊具などの外せるものは外して運び、翌春に錆落とし、錆止め、研磨と塗装を行います。 地域の方々に安心して使ってもらえるよう誠心誠意取り組んでいます。 土木施工 コンクリート製品を活用し、地域貢献とその成果を積極的に学ぶ機会として、構内外での平板および民地仕切石の敷設作業を設けています。外構工事の基本を通して、互いに協力したり工夫をしながら仕事に取り組むことや、責任を持ってものづくりに向かう姿勢を大事にしながら作業に取り組んでいます。	   
--	---